



男性ホルモンって、どんなはたらきをするの

男の子の体から、大人の男性の体へ変えるはたらき

子どもが成長していくと、思春期という時期をむかえます。思春期とは、子どもの時代から大人へと、体や心が変化していく時期です。思春期は、女の子では9才から14才くらいの間に、男の子では10才から14才くらいの間に始まりますが、始まる時期も、体の変化のようすも、人によってちがっています。しかし、18才から20才になるころには、だれもが同じように大人の体になっているのです。そして、男の子に、このような体の変化を起こさせるはたらきをさせているのが、男性ホルモンなのです。

男性ホルモンがつくられるようになると

思春期になると、脳から指令が出て、男の子は精巣で男性ホルモンが、女の子は卵巣で女性ホルモンがつくられるようになります。そして、男の子の場合は、この男性ホルモンのはたらきで、身長がのび、体重が増え、筋肉が発達してがっしりした体つきになります。

また、のどぼとけが出てきて声が低くなったり、体が毛深くなったり、ひげが生えてきたりと、だんだん男らしい大人の男性の体になっていくのです。

(監修・保志 宏)

